Digital Multi Storage Unit

WT-100J
WonderTrack WT-110J

取扱説明書

この度は、本製品をお買い求めいただきありがとうございます。
ご使用になる前には本書を十分にお読みください。

パッケージの中に次のものが入っていることをご確認下さい。

１．本体　　　　　　　　　２．壁面取付プレート
３．ハーネスセット　　　　４．取扱説明書（本書）

また次のものは別売品ですので、別途お買い求め下さい。

１．メモリカード
（次の４種類よりご選択下さい。）
・MC-8 （8MB）　・MC-16（16MB）
・MC-32（32MB）　・MC-64（64MB）

２．ACアダプタ
・S-8312（100V）
または S-8441（100V）

本機の特徴

１．　画像記録ユニット(各モードの説明)

1.本ユニットには最大４台のカメラとセンサを接続できます。
2.64MB(メガバイト)メモリカードで最大4000枚記録することができます。
（モノクロモード、標準モード時（STD））
3.警報発生時に即時、静止画像を録画できます。
4.手間いらずのメンテナンスフリーシステムです。
5.カラー/モノクロモード切替ができます。(WT-110Jのみ)
（WT-100Jはモノクロモードのみとなります。）

２．　セキュリティ送信機との組み合わせ

送信機と一緒にご使用いただく場合、セキュリティシステムの
警戒モード切替と本機の録画モード切替を連動させることが可能です。

３．　オートスイッチャ機能

本機は録画を行わない場合も、各カメラの画像を順次切り替えて表示します。
このとき警報が発せられると、モニタ画面を警報の出たゾーンの画像に切り替えて
表示する使い方も可能です。



目 次

■　安全にご使用いただくために

この取扱説明書では製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

⚠警告	⚠注意	⃠
この内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この内容を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。	この記号は禁止を表します。
⚠警告	⚠注意	⚠　注意
お客様による分解や修理は絶対に行わないで下さい。火災や機器破損の恐れがあります。	風呂場などの水のかかる場所、湿気の多い場所には設置しないで下さい。感電の原因となります。	濡れた手で触らないで下さい。感電、やけどをする恐れがあります。

お断り　この商品は侵入者の検知信号を受けてその映像を記録するものです。万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねますのでご了承願います。

1．本機の特徴

■デジタル画像記録

本機は高品質な静止画をデジタル情報としてメモリに記録（録画）します。画質モードには高画質モードと標準モードの２種類があります。高画質モードは高品質な画像を録画することができます。また標準モードでは同じメモリカードにより多くの画像を録画できます。

■素早い録画と検索

本機はアラーム信号に対して遅れなく画像を録画できます。画像の検索を迅速にすることができる為、すぐに目的の画像を探し出すことができます。

■メンテナンス不要な設計

ビデオテープレコーダは、ヘッド部や駆動部が摩耗しますが、本機はフラッシュメモリを採用したデジタル録画方式のため、摩耗する部分がなくメンテナンスの必要がありません。

2．設置上の注意

■　本機に供給するDC電源は7～12V、1A程度のものを使用して下さい。
　この場合15Vを超えないようにして下さい。

■　チャンネル1には必ずビデオ入力信号を入力して下さい。
　チャンネル１にビデオ信号入力がないと、本機は正常な記録が行えません。

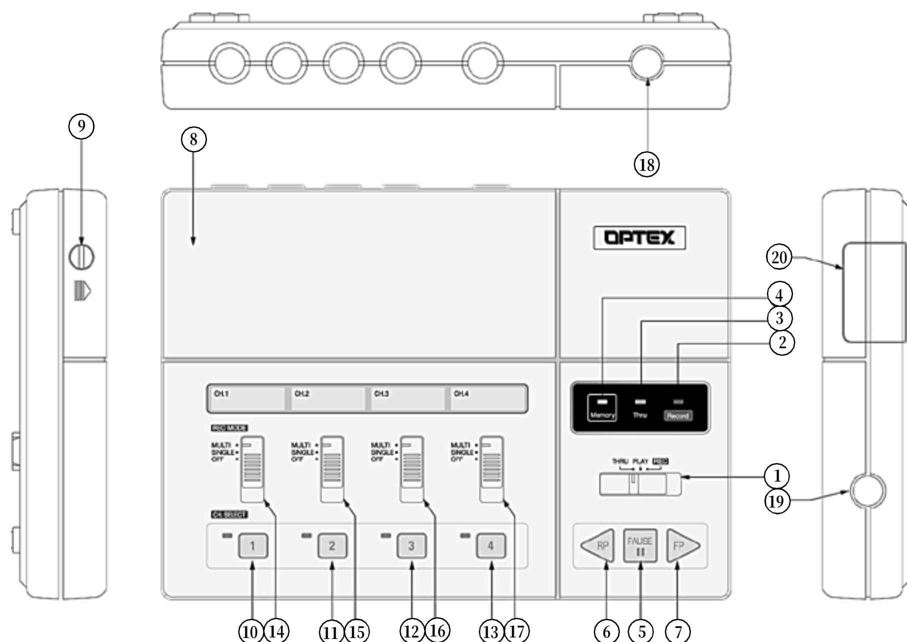
■　カラーカメラとモノクロカメラを混在して使用される場合、必ずチャンネル１にカラーカメラを接続して下さい。

■　次のような環境ではご使用なさらないで下さい。

- 極端に高温もしくは低温な場所
- 強力な磁気のある場所
- 湿度の高い場所
- ほこりの多い場所
- 屋外など環境の悪い場所

3.　図表と簡単な説明

3－１. 本体パネル



① ファンクションスイッチ
REC ポジション: 録画モード（録画状態）になります。
PLAY ポジション: 再生モード（再生状態）になります。
THRU ポジション: スルーモード（入力画像をそのままモニタに出力）になります。

② 録画動作インジケータ
録画モードになっているとき点灯あるいは点滅します。

③ PLAY/THRU 動作インジケータ
PLAY モード: LED が点灯します。
THRU モード: LED が点滅します。

④ メモリインジケータ
録画モードに切り替えた後、アラーム信号が入ると点灯します。
最大録画枚数に達すると点滅します。

⑤ PAUSE(ポーズ)ボタン
再生状態において、自動再生を停止します。
停止状態では画面表示を変更できます。
３秒以上押し続けると、スルーモード時録画設定モードに入ります。
録画設定モードでは項目の決定に使用します。

⑥ RP ボタン
再生、検索の方向を指示します。設定モードでは項目の内容の変更に使用します。

⑦ FP ボタン
再生、検索の方向を指示します。設定モードでは項目の内容の変更に使用します。
スルーモード時３秒以上押し続けるとスイッチャー機能設定／REC MODE スイッチ設定モードに入ります。

⑧ 端子カバー

⑨ 端子カバー固定ビス

⑩ CH1 モニタチャンネル選択ボタン
録画・スルーモード時、このボタンを押して、左上のインジケータを点灯させると、チャンネル１の映像が映し出されます。
画面表示の詳細な設定は「9-2.スルーモードの詳細な設定」をご参照下さい。

⑪ CH2 モニタチャンネル選択ボタン
CH1と同様です。

⑫ CH3 モニタチャンネル選択ボタン
CH1と同様です。

⑬ CH4 モニタチャンネル選択ボタン
CH1と同様です。

⑭ CH1 録画モードスイッチ
OFF:録画モードに入っても映像は録画されません。
MODE1/MODE2：
各録画モードによって機能が異なりますので 詳しくは「13-1.インターバルモード（アラーム録画）」をご覧下さい。

⑮ CH2 録画モードスイッチ
CH1と同様です。

⑯ CH3 録画モードスイッチ
CH1と同様です。

⑰ CH4 録画モードスイッチ
CH1と同様です。

⑱ ビデオ出力端子 1
ビデオ信号を出力します。

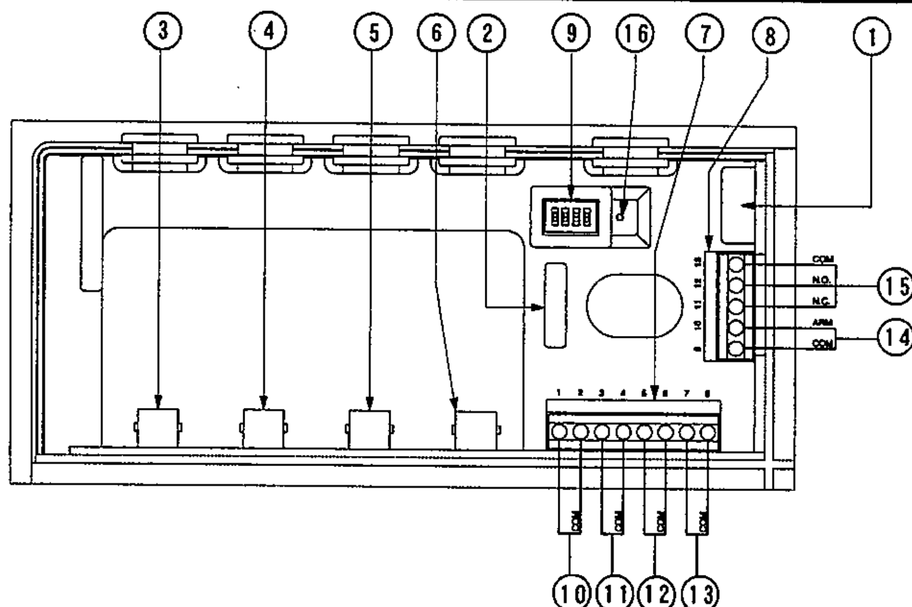
⑲ ビデオ出力端子 2
⑱ビデオ出力端子１と同じ信号を出力します。ただし両方の出力端子を同時に使用しないで下さい。

⑳ メモリカードスロットカバー
次のメモリカードを1枚装備してください。
（別売品）

- MC-8（8MB）
- MC-16(16MB)
- MC-32(32MB)
- MC-64(64MB)

3. 図表と簡単な説明

3-2. 接続端子



① 電源入力端子

② ケーブルクランク

③ CH1（ﾁｬﾝﾈﾙ1）ビデオ入力端子(BNC)
コンポジットビデオ信号を入力します
（注）CH1には必ずビデオ信号を入力して下さい。

④ CH2（ﾁｬﾝﾈﾙ2）ビデオ入力端子(BNC)
CH1と同様です。

⑤ CH3（ﾁｬﾝﾈﾙ3）ビデオ入力端子(BNC)
CH1と同様です。

⑥ CH4（ﾁｬﾝﾈﾙ4）ビデオ入力端子(BNC)
CH1と同様です。

⑦ アラーム入力端子
アラーム録画をするための信号入力端子です。

⑧ AUX入出力端子
警戒モード入力端子、アラーム出力端子。

⑨ ディップスイッチ
No. 1 アラーム出力のタイプを選択します。
No. 2 アラームから記録するまでのディレーを設定します。
ON ：350ms
OFF：650ms
通常はOFFにして下さい。
No. 3 使用していません。
No. 4 カラーモード、モノクロモード切替。
(WT-110Jのみ)
ON ：カラー
OFF：モノクロ

⑩ CH1アラーム入力端子
CH1のビデオ入力に連動する入力端子です。
人体検知用ディテクタ出力をここに接続して下さい。

⑪ CH2アラーム入力端子

⑫ CH3アラーム入力端子

⑬ CH4アラーム入力端子

⑭ 警戒モード入力端子
ファンクションスイッチの位置(スルー、再生、録画)に拘わらず、この端子に信号が入ると強制的に録画モードに切り替わります。

⑮ アラーム出力端子
プログラムによりアラームがおこったとき
あるいはメモリがいっぱいになったとき
リレー信号を出力します。

端子 11	NC接点出力
端子 12	NO接点出力
端子 13	Com接点出力

⑯ メモリ消去・フォーマットボタン
このボタンを２秒以上押し続けることにより
メモリーカードがフォーマットされます。
(記録された画像はすべて消去されます。)

4. 配線図

< カメラ４台とセンサ４台を接続する場合 >

＜注意＞：正しく配線するまで電源は入れないで下さい。

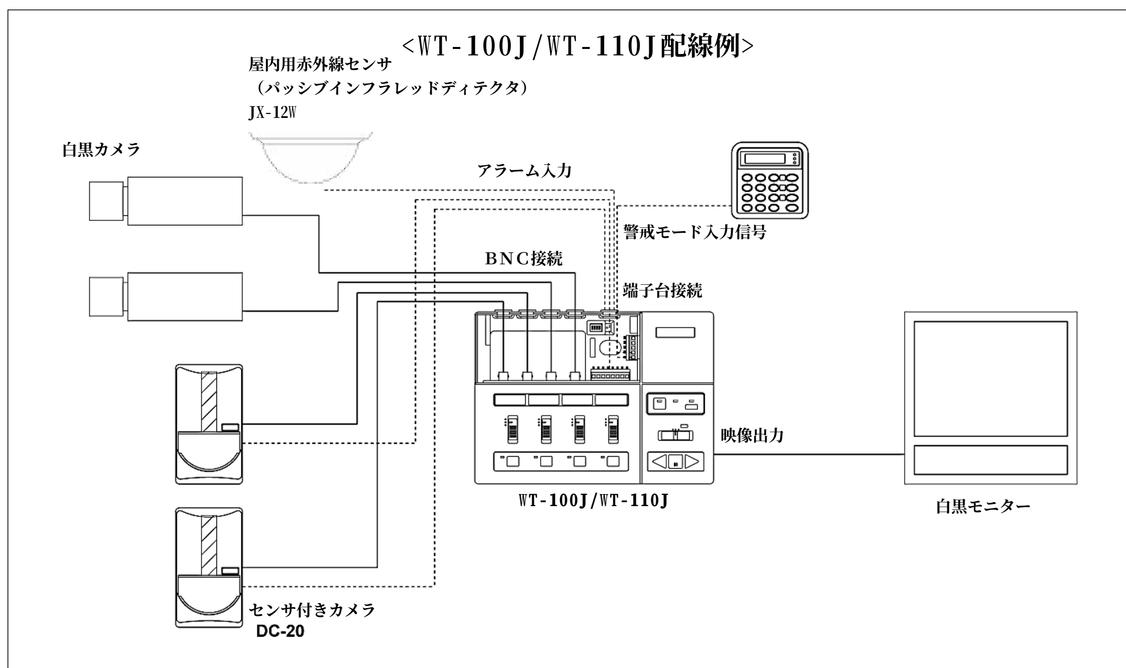
1.カメラは内部同期タイプのものをご使用下さい。

2.モニタの映像入力端子を本機の映像出力端子に接続して下さい。

3.各カメラの映像出力を、本機の適切な映像入力端子に接続して下さい。
例えば、カメラ１を本機のチャンネル１に接続するなどです。
(注)チャンネル１には必ずカメラの映像出力を接続して下さい。

4.警報出力付きセンサや緊急押しボタンを本機の適切なアラーム入力端子に接続して下さい。この場合、対応させせたいカメラとセンサを間違わないようにして下さい。例えば、チャンネル１に接続されたカメラ１を制御するセンサは、アラーム入力１に接続する必要があります。

5.全ての配線が終了しましたら、電源を接続して起動して下さい。



5．本機の設置

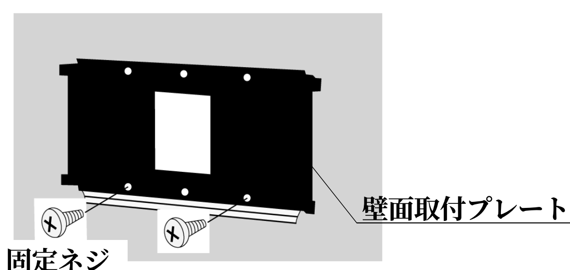
（テーブルなどの上に設置する場合）

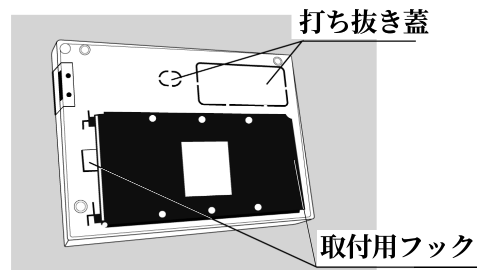
本機をテーブル上で使用する場合、まず本機の端子カバーを外して下さい。次に「4．配線図」の説明に従いケーブルを接続して下さい。端子カバーを再び取り付ける前にカバーに付いているゴムキャップを外してケーブルの邪魔にならないようにして下さい。

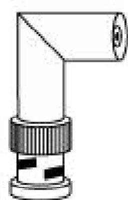
（壁面に取り付ける場合）

1．本機は、付属の壁面取付プレートを使用することにより簡単に壁面に取り付け出来ます。
2．壁面取付プレートを固定ネジでしっかり固定して下さい。固定するネジはヨビ４ネジをご使用下さい。
（固定ネジは付属されておりません）
3．本機裏面の打ち抜き蓋（２カ所）を折り取って下さい。
4．「4．配線図」の説明に従い、映像ケーブルと警報信号ケーブルを接続して下さい。

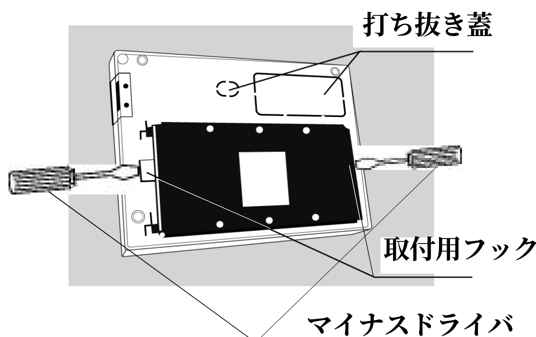
<注意>：打ち抜き蓋から配線し、映像ケーブルに太いタイプのものをご使用の場合、別売品のBNCコネクタ（L型）をご使用下さい。







BNCコネクタ（L型）



5．壁面取付プレートから本体を外すときは、本体裏面左右の取付用フックをマイナスドライバなどで２ヵ所同時に押さえながら本体を上に引き上げて下さい。

6．ディップスイッチの設定

1.ディップスイッチNo.1の設定で本機からのアラーム出力の内容を変更できます。
2.ディップスイッチNo.2の設定で本機からのディレーの内容を変更できます。
3.ディップスイッチNo.3には何も設定されていません。
4.ディップスイッチNo.4の設定で本機からのカラー/モノクロモードが変更できます。(WT-110Jのみ)
(WT-100Jはモノクロモードのみとなります。)

ディップ SW No.	1	2	3	4
ON	アラーム信号をそのまま出力	350ms	・	カラー
OFF	本機のメモリが一杯になったときON出力	650ms	・	モノクロ

ON
1 2 3 4

5.端子カバーを閉めて下さい。
<注意>ディップスイッチの位置に関係なくエラー時にはアラーム出力端子から信号を出力します。

7. メモリカードの取り付け / 取りはずし

1.本機にメモリカードを挿入して下さい。(本機はメモリを内蔵しておりません。)

別売　・MC-8　(8MB)　　　・MC-16(16MB)
　　　・MC-32（32MB）　　・MC-64(64MB)

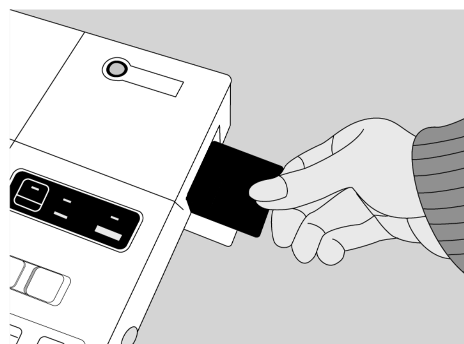
<注意>：本機で使用したメモリカードを他の機器で使用する場合は、PCフォーマットして下さい。
(PCフォーマットについての詳細は「12.画像メモリの消去・フォーマット」をご参照下さい。)

2．オプションとして次のメモリカードをお選びいただけます。

画像用メモリ容量　　8MB/16MB/32MB/64MB　(MC-8/MC-16/MC-32/MC-64)

画像記録枚数

	モノクロモード		カラーモード	
	STD	HIGH	STD	HIGH
8MB	約500	約330	約330	約250
16MB	約1000	約660	約660	約500
32MB	約2000	約1320	約1320	約1000
64MB	約4000	約2640	約2640	約2000

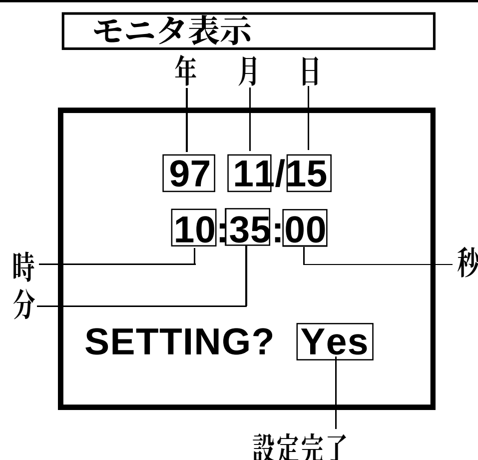


3.　メモリカードスロットカバーを開け、メモリカードを奥まで差し込んで下さい。このとき、メモリカードの端子面（金属部分）が下を向くようにして下さい。

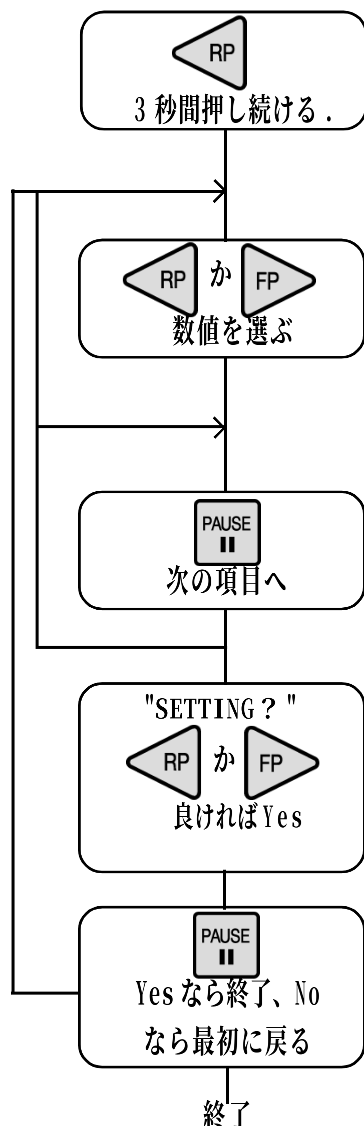
4.　メモリカードスロットカバーを閉めて下さい。
メモリカードを引き抜くことで画像を保存しておくことができます。

<注意>RECモード時はメモリカード抜かないで下さい。
記録中のデータが破壊されることがあります。カードを曲げたり、折ったりしないで下さい。
端子面に手を触れたり、水に濡らすなど汚さないようにして下さい。
データ保存後は付属のケースに入れて下さい。

8. 日付／時刻の設定



本機は録画日時をオンスクリーンデータとして記録したり、スクリーン上に表示します。
そのために日時／時刻を設定しておきます。



1.本機の電源を投入すると、全てのインジケータが点灯します。

2.ファンクションスイッチを[THRU]に合わせてください。



<ファンクションスイッチ>

次に[RP]ボタンを同時に約３秒間押し続けてください。

3.日時を設定するメニューが表示されます。[RP]と[FP]ボタンにより数値を増減させて、[PAUSE]ボタンにより決定し、次の設定項目に移ります。

4.全ての設定が終了しましたら"SETTING？"の項目を[FP]もしくは[RP]ボタンで"NO"から"YES"に変更し、[PAUSE]ボタンを押して決定して下さい。

* 閏（うるう）年は自動的に設定されます
* 年は西暦の末尾２桁だけを表示します。
* ２４時間表示です。
* 長期間に渡り電源コンセントを抜いていた場合は、使用前に現在時刻を確認してください。

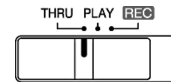
９．スルー（スイッチャ）モード
9-1．オートスキャンの使い方

WT-100J/WT-110Jはスルーモードおよび録画モードで入力画像をリアルタイムで出力表示する、いわゆるオートスイッチャとして機能します。

①設定メニューで選択したチャンネルでアラーム信号が発生すると、画面は自動的にそのチャンネルに切り替わります。(9-2.スルーモードの詳細な設定、参照)

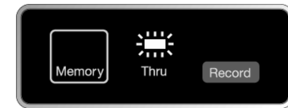
②設定メニューで選択したチャンネルを順次切り替えて表示する機能が、オートスキャンです。各チャンネルごとに2～30秒間隔で　１→２→３→４　の順で表示します。

(設定メニュー：9-2. スルーモードの詳細な設定、参照)



＜ファンクションスイッチ＞

1.本機に電源を投入すると、全てのインジケータが点灯します。



2.ファンクションスイッチを<THRU>に合わせて下さい。

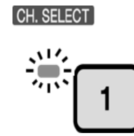
モニタチャンネル選択ボタン左上のLEDの意味は次の通りです。

・非点灯―――表示されません（オートスキャンの対象外）。

・点　滅―――現在表示されているチャンネルを示します。

・点　灯――オートスキャンの対象となるチャンネルです。順番が来れば、そのチャンネルが表示されます。

なおオートスキャンの設定に関わらず、スルーモード設定メニューで"ALARM ACCEPT ON THRU"を"Y"に設定したチャンネルにアラーム信号が入ったときは、そのチャンネルの画像が10秒間表示された後（もしくは10秒以内に表示チャンネルのモニタチャンネル選択ボタンを押せば即時に)、元の状態に復帰します。



＜モニタチャンネル選択ボタン＞

3.オートスキャンの設定に関わらず、モニタチャンネル選択ボタンを押すと、モニタチャンネル選択ボタンのLEDが点滅し、そのチャンネルが表示されます。このとき画面の左上に表示中のチャンネル、右上に"LOCK"という文字が表示されます。もう一度同じモニタチャンネル選択ボタンを押すと元の状態に復帰します。



９．スルー（スイッチャ）モード
9-2.スルーモードの詳細な設定

```
ALARM ACCEPT ON THRU
 1:Y    2:Y    3:Y    4:Y

SWITCHING  INT.TIME
 1: 6    2: 6    3: 6    4: 6

REC MODE SW      NORM


SETTING?               No
```

スルーモード設定メニューでは､本機のスイッチャ機能を詳細に設定できます。

1.本機に電源を投入すると､全てのインジケータが点灯します。

2．ファンクションスイッチを[THRU]に合わせて下さい。

3．[FP]ボタンを３秒以上押して下さい。
上記のメニューがモニタに表示されます。

4．各項目を希望する内容に設定して下さい。各項目とも、
[RP][FP]ボタンで値を変え､[PAUSE]ボタンで決定、
次の項目に移ります。

・"ALARM ACCEPT ON THRU"
この項目を"Y"にすると、アラーム信号が発生したチャンネルに画面が切り替わります。アラーム信号が頻繁に発生し､画面が切り替わると煩わしいチャンネルの場合は"N"に設定されることをお勧めします。

・"SWITCHING INT.TIME"
各CHごとに画面を表示する時間を設定します。2～30秒まで２秒間隔で設定できます。"*"を選んだ場合､そのチャンネルはオートスキャンされません。

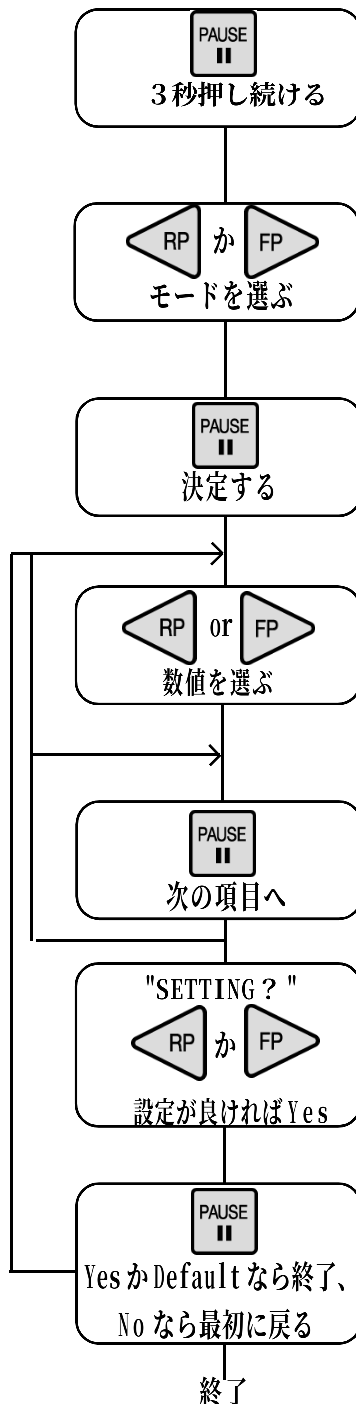
・"REC MODE SW"
この項目はスルーモード設定には関係ありません。
詳しくは「13-5.録画モード（[REC MODE]）スイッチの無効化」をご覧下さい。

5．全ての設定が終了しましたら、"SETTING?"の項目で"Yes"に合わせて下さい。これで設定は終了です。

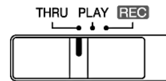
<使用例>
「チャンネル1は人通りの多い正面玄関、チャンネル 2、3 は室内、チャンネル4は非常口を監視している場合」
チャンネル1、2、3はアラーム信号が頻発すると考えられますので"ALARM ACCEPT ON THRU"を"N"、"SWITCHING INT.TIME"を長めの"6"秒とし、何かあった場合に必ず見たいチャンネル4は"ALARM ACCEPT ON THRU"を"Y"、通常の自動切り替えは短めで"SWITCHING INT.TIME"を"2"秒に、という具合に設定することができます。

10. 録画モード設定メニュー
10-1. プログラムモード

以下の３種の録画方法を設定することができますので用途、目的によって使い分けて下さい。
インターバルモード：選択した時間間隔、もしくはアラームが発生したときに録画します。
プリアラームモード：選択した内容に従い、「アラーム発生前・発生後」の画像を録画します。
マルチアングルモード：１つのアラーム信号が入ったときに、複数のカメラが同時に録画します。



1. ファンクションスイッチを[THRU]に合わせて[PAUSE]ボタンを約３秒間押し続けてください。



2. モニタ上にオンスクリーンメニューが表示されます。

（インターバルモードの場合）

```
MODE                  Interval
REC INT.W/ALARM              1
PIC.NO.W/ALARM               1
CONS-REC INTERVAL           10
EXIT DELAY                   0
QUALITY                   High
OVER WRITE MEM.             ON
TRIGGER                   Edge
 1 NC   2 NC   3 NC   4 NC
SETTING?                    No
```

3. 上記３つのモードの表示を[FP]ボタンまたは[RP]ボタンを押して切り換え、[PAUSE]ボタンで決定し各項目の設定に入って下さい。
   各項目の設定では[RP][FP]ボタンで数値の増減や"Yes","No"、あるいは"ON","OFF"等を変更し[PAUSE]ボタンを押すことによって決定し、次の項目へ移動することができます。
   なお、設定モードの各項目の詳細については別紙を参照ください。

4. 最後に"SETTING?"の項目を"Yes"もしくは"Default"（出荷時設定に戻す）に変更して、[PAUSE]ボタンを押せばメニューから出ることができます。

10. 録画モード設定メニュー
10-2. 各モードの画面表示

録画モードを変更すると画面表示の内容も変更されます。
録画モードの設定内容は「13. 録画モード」をご覧下さい。
各項目の出荷時の設定値および設定可能な値については「11. モニタ表示メニューと出荷時設定（プログラムメニュー）」をご覧下さい。

< インターバルモード >

```
MODE                Interval
REC INT.W/ALARM            1
PIC.NO.W/ALARM             1
CONS-REC INTERVAL         10
EXIT DELAY                 0
QUALITY                 High
OVERWRITE MEM.            ON
TRIGGER                 Edge
 1 NC  2 NC  3 NC  4 NC
SETTING?                  No
```

< プリアラームモード （チャンネル１のみ）>

```
MODE          CH1 Pre Alarm
REC INT.W/ALARM           1
PIC.NO.W/ALARM            1
PREALARM PIC. NO.         4
EXIT DELAY                0
QUALITY                High
OVERWRITE MEM.           ON
TRIGGER                Edge
 1 NC  2 NC  3 NC  4 NC
SETTING?                 No
```

< マルチアングルモード >

```
MODE            Multi Angle
NO.OF PIC.PER CH          1


EXIT DELAY                0
QUALITY                High
OVERWRITE MEM.           ON
TRIGGER                Edge
 1 NC  2 NC  3 NC  4 NC
SETTING?                 No
```

11．モニタ表示メニューと出荷時設定
（プログラムメニュー）

各録画モード共通メニュー

表示	選択項目 < 出荷時設定 >	説明
MODE	Interval / CH1 Pre Alarm / Multi Angle < Interval >	<Recording mode> ・インターバルモードで録画します。詳しくは「13-1.インターバルモード（アラーム録画）」「13-2.インターバルモード（アラーム録画と連続録画併用）」をご覧下さい。 ・チャンネル１のみプリアラームモードで録画します 。詳しくは「13-3.プリアラームモード」をご覧下さい。 ・マルチアングルモードで録画 します。詳しくは「13-4.マルチアングルモード」をご覧下さい。
EXIT DELAY	0,30,60,120,180 秒 < 0 >	録画モードに切り換えてから実際に録画を開始するまでの遅延時間を設定します。
QUALITY	High / STD < STD >	画像の圧縮率を変えて画質を設定します。 High ： 高画質　　STD ： 標準画質
OVERWRITE MEM.	ON / OFF < ON >	メモリカードが一杯になったときに ON: 一番過去の画像情報に上書きしながら録画を続けます。 OFF ： 録画を中止します。
TRIGGER	Edge / Level < Edge > 1: N.C./N.O.　2: N.C./N.O. 3: N.C./N.O.　4: N.C./N.O. < N.C. >	アラーム信号の受付け方を設定します。 Edge:「非検知レベル→検知レベル」時のみアラーム信号を受付けます。 Level:検知レベルは継続してアラームを受付けます。 各アラーム端子ごとに信号の接点特性を設定します。
SETTING?	No / Yes / Default < No >	No ： このプログラムメニューの最初に戻ります。 Yes: 現在の設定を記憶し終了します。 Default: 全ての設定を出荷時設定に戻します。

< インターバルモード>

表示	選択項目 < 出荷時設定 >	説明
REC INT.W/ALARM	1,2,..........9,10 秒 < 1 >	アラーム発生後に連続録画するときの時間間隔を設定します。 (注)「1秒」の設定は、画質設定により変動しますので延びることがあります。
PIC.NO.W/ALARM	1,2,3,4,........,64 枚 < 1 >	アラーム発生後に連続録画する枚数を設定します。
CONS-REC INTER-VAL	*,FS,10s,30s,1M,2M,3M,5M,15M,30M,1H,2H,3H,6H,12H,24H < * > FS:最速 S:秒 M:分 H:時	アラームに関係なく連続録画するときの時間間隔を設定します(タイムインターバル)。 (注1) 本動作を行う場合、この動作を設定したいチャンネルのRECモードスイッチをMODE2にしておく必要があります。 (注2) * を選んだ場合、アラーム発生時のみ録画します。

< プリアラームモード (チャンネル 1のみ)) >

表示	選択項目 < 出荷時設定 >	説明
REC INT.W/ALARM	0,1,2,..........9,10 秒 < 1 >	アラーム発生後に連続録画するときの時間間隔を設定します。
PIC.NO.W/ALARM	1,2,3,4,........,64 枚 < 1 >	アラーム発生後に連続録画する枚数を設定します。
PREALARM PIC. NO.	1,2,3,4,........,8 枚 < 4 >	アラーム発生前の画像の録画枚数を設定します(チャンネル1のみ)。撮影時間間隔はREC INT. W/ALARMに準じます。 (注)設定可能枚数は画質モードの設定により変わります。 HIGH : 最大 4枚 STD : 最大 8枚

< マルチアングルモード>

表示	選択項目 < 出荷時設定 >	説明
NO.OF PIC.PER CH	1,2,3,4,........,64 枚 < 1 >	マルチアングルモードに設定されたチャンネルの、連続録画枚数を設定します。記録枚数はMODE2に設定されたチャンネル数×設定値になります。

12．画像メモリの消去・フォーマット

< 図１ >

FORMAT MODE
All data will be
deleted.
Are you sure?

NO

Please select FP RP
And set by PAUSE.

< 図２ >

FORMAT MODE
All data will be
deleted.
Are you sure?

YES (for WT)

Please select FP RP
And set by PAUSE.

< 図３ >

FORMAT MODE
All data will be
deleted.
Are you sure?

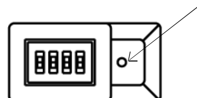
YES (for PC)

Please select FP RP
And set by PAUSE.

< 図４ >

NOW ERASING
20

1．端子カバーを開けて下さい。ボールペンなど先の尖ったものでリセットボタンを３秒間押して下さい。



2．画面上に消去･フォーマットの選択画面が表示されます。< 図１ >

3．[FP] [RP] ボタンで消去する < 図２ > か、PC フォーマット < 図３ > するかを選択します。

4．選択した後、[PAUSE] ボタンを押すと消去またはPCフォーマットを開始します。

5．数字のカウントが 0になったら消去またはPCフォーマット完了です。

消去時間は、 8MB：約5分
16MB：約 10 分
32MB：約 20 分
64MB：約 40 分
を目安にして下さい。

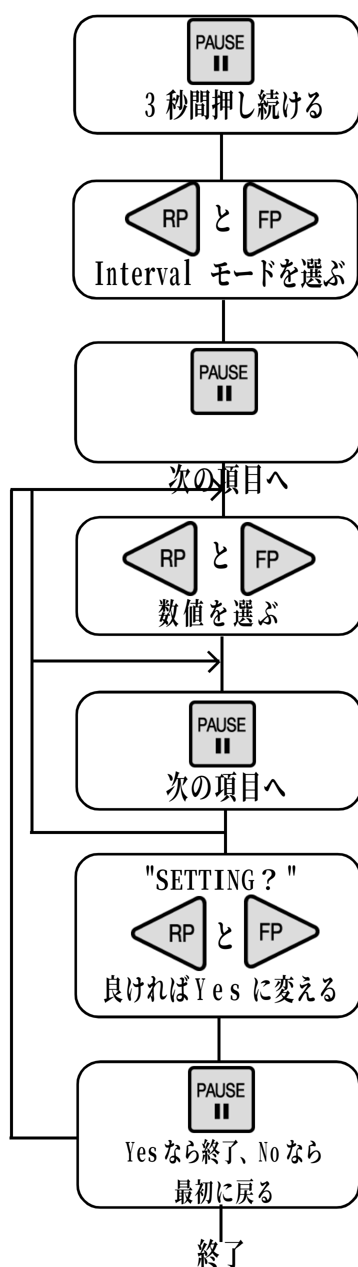
<注意>WTフォーマットされていないメモリカードを挿入しますと "UNFORMAT" と表示されます。この場合は、上記の操作を行いフォーマットして下さい。

<注意>WTフォーマット、PCフォーマットのいずれの場合も記録されたデータはすべて消去されます。

13．録画モード

13-1．インターバルモード（アラーム録画）

```
MODE                    Interval
REC INT.W/ALARM                1
PIC.NO.W/ALARM                 1
CONS-REC INTERVAL              *
EXIT DELAY                     0
QUALITY                     High
OVER WRITE MEM.               ON
TRIGGER                     Edge
 1 NC   2 NC   3 NC   4 NC
SETTING?                     Yes
```



このモードでは、センサからアラームが発生したときのみ、設定された時間間隔、枚数で映像を録画します。

1．本機に電源を投入すると、全てのインジケータが点灯します。

2．ファンクションスイッチを[THRU]に合わせて下さい。

3．[PAUSE]ボタンを３秒以上押して下さい。

4．すると上記のメニューがモニタに表示されます。
このときモニタ画面１行目の[MODE]が "Interval" になっていなければ、[FP][RP]ボタンを使って表示を "Interval" に変更して下さい。
[PAUSE]ボタンで次の項目に移ります。

5．"CONS-REC INTERVAL" を "*" に設定して下さい。

"EXIT DELAY" から TRIGGER の項目は「11．モニタ表示メニューと出荷時設定」の「各録画モード共通メニュー」をご覧下さい。

※１回のアラーム信号による録画枚数を増やしたい場合、"PIC.NO.W/ALARM " の項目を希望の枚数に設定して下さい。
※録画する時間間隔を変更するには "REC INT.W/ALARM" を設定したい時間（秒）にして下さい。
※ファンクションスイッチを[REC]に合わせてから、実際に録画を開始するまで遅延させたいとき(建物から退出するまでの時間は録画したくない場合など）には、"EXIT DELAY" の項目で希望の時間（秒）に設定して下さい。

6．全ての設定が終了しましたら、"SETTING?" の項目で "Yes" に合わせて下さい。

7．設定内容を確認の上、[PAUSE]ボタンを押してプログラムモードを終了ください。

8．ファンクションスイッチを[REC]に合わせて下さい。
本機はアラーム信号による録画を開始します。

録画モード（[REC Mode]）スイッチを切り替えることにより以下の設定が可能です。



録画モード（[REC Mode]）スイッチが
[OFF]のチャンネル　：録画しません。
[MODE1]のチャンネル：アラームが発生したときの映像を１枚だけ録画します。
[MODE2]のチャンネル：アラームが発生したとき、"REC INT.W/ALARM" で設定した時間間隔で設定枚数まで映像を録画します。

13. 録画モード

13-2. インターバルモード（アラーム録画と連続録画併用）

MODE	Interval
REC INT.W/ALARM	1
PIC.NO.W/ALARM	1
CONS-REC INTERVAL	10
EXIT DELAY	0
QUALITY	High
OVER WRITE MEM .	ON
TRIGGER	Edge
1 NC 2 NC 3 NC 4 NC	
SETTING?	Yes

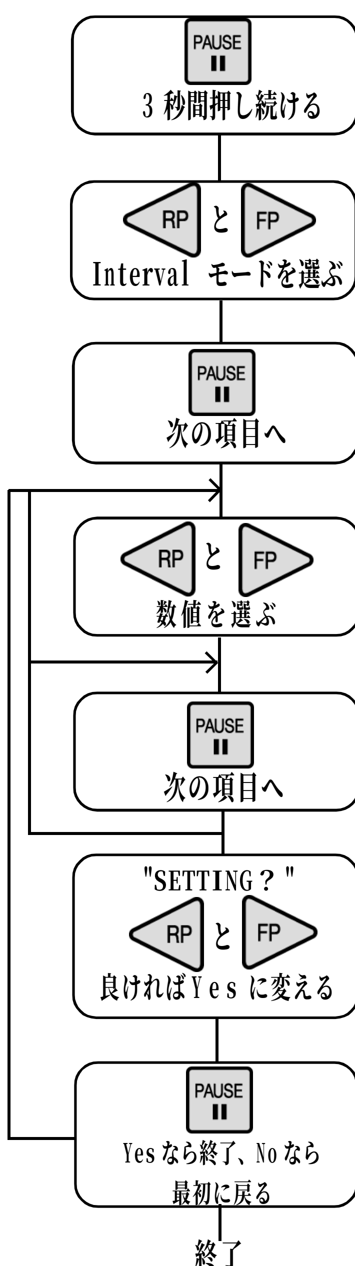
このモードを選択すると、本機は選択した時間間隔で録画を行いますので、タイムラプスビデオによく似た使い方ができます。
またチャンネルによりセンサからアラームが発生したときのみ録画させることも出来ます。

1. 本機に電源を投入すると、全てのインジケータが点灯します。
2. ファンクションスイッチを[THRU]に合わせて下さい。
3. [PAUSE]ボタンを３秒以上押して下さい。
4. すると上記のメニューがモニタに表示されます。このとき"MODE"が"Interval"になっていなければ、[FP][RP]ボタンを使って表示を"Interval"に変更して下さい。
5. <アラーム録画のみ>の場合とほぼ同じですが、"CONS-REC INTERVAL"の設定が異なります。１０秒間隔で連続録画したい場合，この項目を"10"秒に、１分間隔なら"60"秒に合わせて下さい。

"EXIT DELAY"からTRIGGERの項目は「11. モニタ表示メニューと出荷時設定」の「各録画モード共通メニュー」をご覧下さい。

※１回のアラーム信号による録画枚数を増やしたい場合、"PIC.NO.W/ALARM "の項目を希望の枚数に設定して下さい。
※録画する時間間隔を変更するには"REC INT.W/ALARM"を設定したい時間（秒）にして下さい。
※ファンクションスイッチを[REC]に合わせてから、実際に録画を開始するまで遅延させたいとき(建物から退出するまでの時間は録画したくない場合など）には、"EXIT DELAY"の項目で希望の時間（秒）に設定して下さい。

6. 全ての設定が終了しましたら、"SETTING?"の項目で "Yes"に合わせて下さい。
7. 設定内容を確認の上、[PAUSE]ボタンを押してプログラムモードを終了して下さい。
8. ファンクションスイッチを[REC]に合わせて下さい。
   本機はRECモードに移行以後、設定した時間間隔で連続録画を行います。



録画モード（[REC MODE]）スイッチが
[OFF]のチャンネル　：録画しません。
[MODE1]のチャンネル：アラームが発生したときそのチャンネルの映像を１枚録画します。
[MODE2]のチャンネル：アラームに関係なく"REC INT.W/ALARM"で設定した時間間隔で連続録画します。

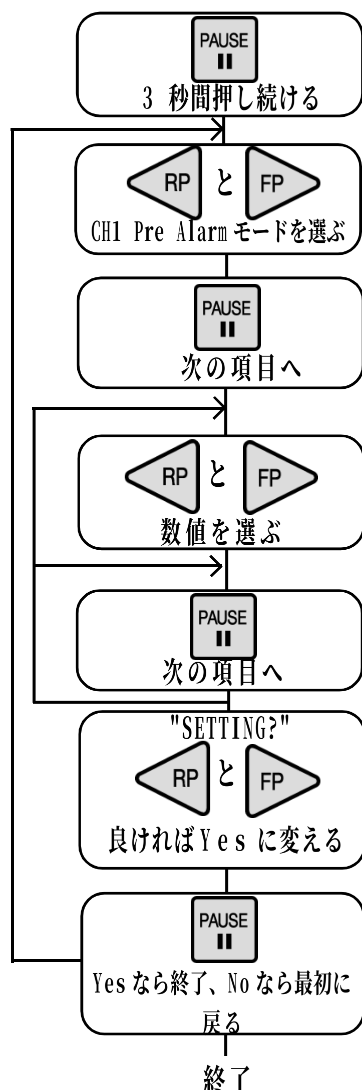
13. 録画モード

13-3. プリアラームモード

MODE	CH1 Pre Alarm
REC INT.W/ALARM	1
PIC.NO.W/ALARM	1
PREALARM PIC. NO.	4
EXIT DELAY	0
QUALITY	High
OVERWRITE MEM.	ON
TRIGGER	Edge
1 NC　2 NC　3 NC　4 NC	
SETTING?	Yes

このモードを選択すると、本機は設定した内容に従って「アラーム発生前」の画像を録画します。チャンネル１のみ設定可能です。

1. 本機に電源を投入すると、全てのインジケータが点灯します。
2. ファンクションスイッチを[THRU]に合わせて下さい。
3. [PAUSE]ボタンを３秒以上押して下さい。
4. すると上記のメニューがモニタに表示されます。このとき"MODE" が "CH1 Pre Alarm" になっていなければ、[FP][RP]ボタンを使って表示を "CH1 Pre Alarm" に変更して下さい。
5. アラーム発生前の録画したい枚数を "PREALARM PIC. NO." で設定して下さい。最大設定枚数は、モノクロモード時で、画質の設定が "High" の場合、最大４枚、"STD" の場合、最大８枚、またカラーモード時で、"High" の場合、最大３枚、"STD" の場合、最大４枚設定可能です。
   例えばアラーム発生前の画像を４枚、アラーム発生以降の画像を10枚録画したい場合、"PREALARM PIC. NO." を４枚、"PIC.NO.W/ALARM" を10枚に設定して下さい。
   "EXIT DELAY" から TRIGGER の項目は「11. モニタ表示メニューと出荷時設定」の「各録画モード共通メニュー」をご覧下さい。
6. 全ての設定が終了しましたら、"SETTING?" の項目で "Yes" に合わせて下さい。
7. チャンネル１の録画モード（[REC Mode]）スイッチを[MODE2]に合わせて下さい。
8. ファンクションスイッチを[REC]に合わせて下さい。本機はアラーム発生以降の画像とアラーム発生前の画像両方を録画します。



録画モード（[REC Mode]）スイッチが
[OFF]のチャンネル　　：録画しません
[MODE1]のチャンネル：アラーム発生後の画像を１枚のみ録画します。
[MODE2]のチャンネル：
チャンネル１はアラームが発生したとき、"PREALARM PIC. NO." で設定した枚数分のアラーム発生前の画像と、アラーム発生後の画像を "REC INT.W/ALARM" で設定した時間間隔と、"PIC.NO.W/ALARM"で設定した枚数で録画します。他のチャンネルはアラームが発生すると、"REC INT.W/ALARM" で設定した時間間隔と"PIC.NO.W/ALARM"で設定した枚数で録画します。

13. 録画モード

13-4. マルチアングルモード

```
MODE                 Multi Angle
NO. OF PIC. PER CH             1

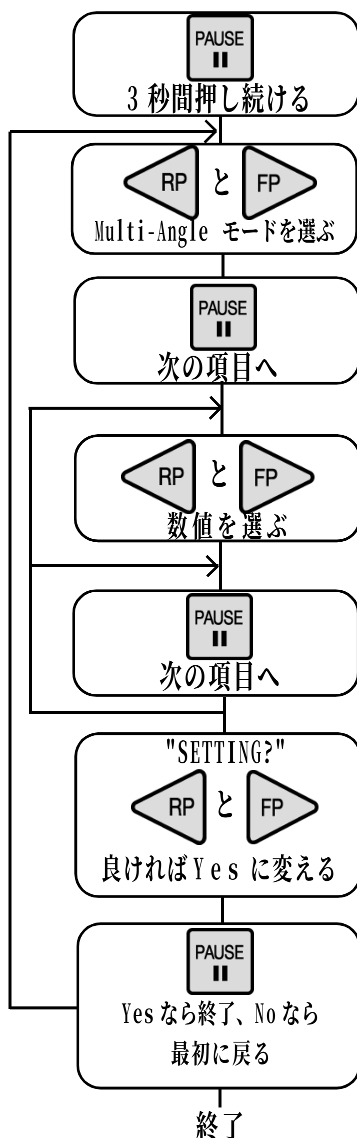

EXIT DELAY                     0
QUALITY                     High
OVERWRITE MEM.                ON
TRIGGER                     Edge
 1 NC  2 NC  3 NC  4 NC
SETTING?                     Yes
```

＜マルチアングルモード＞

本機は、１つのセンサがアラームを発すると複数のカメラが同時に録画するユニークな機能があります。この機能を使用すると、１つの対象物を複数のアングルで録画することができます。

1. 本機に電源を投入すると、全てのインジケータが点灯します。
2. ファンクションスイッチを[THRU]に合わせて下さい。
3. [PAUSE]ボタンを３秒以上押して下さい。
   上記のメニューがモニタに表示されます。
4. "MODE" が "Multi Angle" になっていなければ、[FP][RP]ボタンを使って表示を "Multi Angle" に変更して下さい。

   "EXIT DELAY" から TRIGGER の項目は「11. モニタ表示メニューと出荷時設定」の「各録画モード共通メニュー」をご覧下さい。



5. 全ての設定が終了しましたら、"SETTING?" の項目で "Yes" に合わせ、[PAUSE]ボタンを押してプログラムモード終了して下さい。
6. 録画したいチャンネルの[REC Mode]スイッチを[MODE2]に合わせて下さい。
7. ファンクションスイッチを[REC]に合わせて下さい。本機は[MODE2]に設定されたチャンネルのうち、いずれかにアラームが発生すると[MODE2]に設定された全てのチャンネルで同時に録画します。

(例) チャンネル１と３を[MODE2]に設定すると、チャンネル１と３のいずれかにアラームが発生した場合に両方のチャンネルで録画を行います。
もし各チャンネルで複数枚の録画を行う場合は、プログラムメニューの"NO. OF PIC. PER CH"の項目で１チャンネルあたりの枚数を設定して下さい。もし"３"枚と設定した場合、本機はチャンネル順に３枚ずつ、合計６枚録画します。
CH1 → CH3 → CH1 → CH3 → CH1 → CH3

録画モード（[REC Mode]）スイッチが
OFF のチャンネル ： 録画しません。
[MODE1]のチャンネル：アラームが発生したとき単独で１枚のみ録画します。
[MODE2]のチャンネル：このモードに設定されたいずれかのチャンネルでアラームが発生すると、[MODE2]に設定された全てのカメラが順次、設定した時間間隔と枚数で録画します。

13. 録画モード

13-5. REC MODEスイッチの無効化(録画モードの内部固定)

```
ALARM ACCEPT ON THRU
 1:Y   2:Y   3:Y   4:Y

SWITCHING  INT.TIME
 1: 6   2: 6   3: 6   4: 6

REC MODE SW     NORM


SETTING?             No
```

（出荷時設定画面）

```
ALARM ACCEPT ON THRU
 1:Y   2:Y   3:Y   4:Y

SWITCHING  INT.TIME
 1: 6   2: 6   3: 6   4: 6

REC MODE SW     LOCK
 1: M2  2: M2  3: M2  4: M2

SETTING?             No
```

録画中にいたずらされ､録画設定を変更されてしまう恐れがある場合、機器内部で"REC MODE SW"設定を固定することでパネル前面の[REC MODE]スイッチを無効にすることが出来ます。

1.本機に電源を投入すると､全てのインジケータが点灯します。

2. ファンクションスイッチを[THRU]に合わせて下さい。

3. [FP]ボタンを３秒以上押して下さい。
上記のメニューがモニターに表示されます。

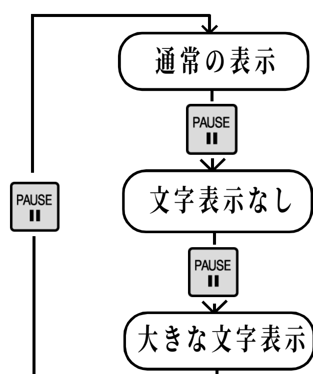
4. [PAUSE]ボタンを数回押して、"REC MODE SW"の項目に移します。[FP]ボタンもしくは[RP]ボタンで"NORM"を"LOCK"に変更して下さい。

5. 画面表示が左図のように変化します。[PAUSE]ボタンを押して"1: M2"に移ります。

6. [FP]ボタンもしくは[RP]ボタンを押すと
"M2"↔"M1"↔"*"↔"M2"と表示が変わります。
それぞれの意味は次の通りです。
・"M1"　MODE1に固定します。
・"M2"　MODE2に固定します。
・"*"　OFFに固定します。
希望の状態を選べたら[PAUSE]ボタンで次のチャンネルに移り、同様に設定して下さい。

7. 全ての設定が終了しましたら、"SETTING?"の項目で"Yes"に合わせて､[PAUSE]ボタンを押して下さい。これで設定の完了です。以降､[REC MODE]スイッチがどの位置にあってもこの設定の通りとなります。
再び[REC MODE]スイッチを有効にしたい場合は本設定にて"REC MODE SW"を"NORM"に戻して下さい。

14. 再生モード



1.電源を投入すると全てのインジケータが点灯します。

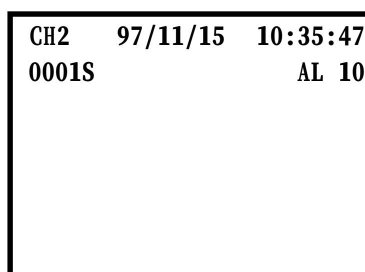
2.ファンクションスイッチを[PLAY]に合わせてください。
この状態ではアラームが発生しても画像の録画は行われません。

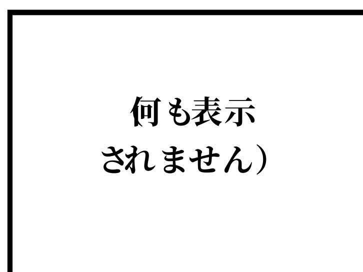
3.次のようなスーパーインポーズの入った画面が現れます。
[PLAY]に合わせた最初には、一番後に録画された画面が表示されます。

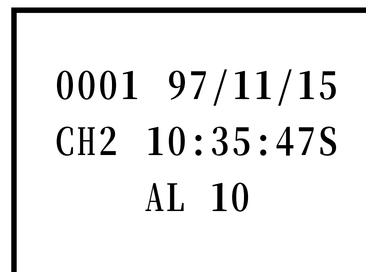
4.もしスーパーインポーズの文字を大きくしたり、消したい場合は[PAUSE]ボタンを押して下さい。

一度押す：文字が消える

二度押す：文字が大きくなる

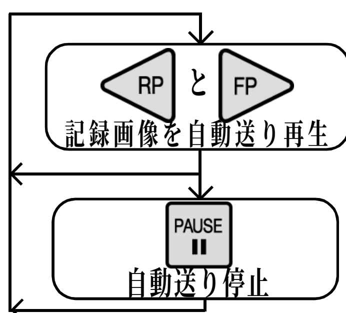






5.[RP]ボタンを一度押すと自動的に１枚ずつ古い画像へとコマ送りされます。[FP]ボタンを押せば新しい画像へとコマ送りします。

6.[PAUSE]ボタンを押すと画面の切り替わりが停止します。



7.それ以前の映像を見るには[RP]ボタンをもう一度押し、引き戻して確認したいときは[FP]ボタンを押して下さい。

8.[RP]もしくは[FP]ボタンのいずれかを２回押すと「全インデックス検索モード」、３回押すと「RECスタート検索モード」となります。

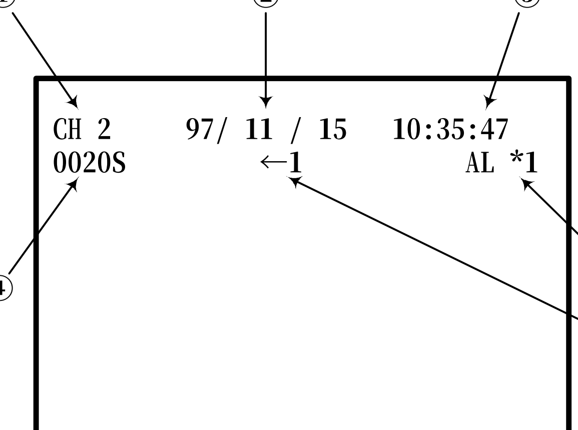
「インデックス検索」の対象となるのは、

①アラーム発生時の最初の記録画像

②REC MODEに移行して最初の記録画像

です。詳しくは次項をお読み下さい。

14. 再生モード（続き：画面表示の説明）



①録画チャンネル — 録画されたチャンネルです。
②録画日付 — 録画された年月日です。
③録画時間 — 録画された時分秒です。
④画像番号と画質 — 最も新しい画像を 0001 として、古い画像になるほど数字が大きくなります。
また、数字の後ろが ”S” ならば標準画質モード、 ”H” ならば高画質モードで
記録された画像です。
⑤コマ送り／検索 — 他のモードから[PLAY]モードに移行した場合、もしくは[PAUSE]ボタンで停止
させた場合は何も表示されません。

・[RP]ボタンを１回押すと[←1]が表示され、[FP]ボタンを１回押すと ”1→ ” が表示されます。

・[FP]ボタンを２回押すと ” INDEX●＊→ ” が、[RP]を２回押すと ” ←INDEX●＊ ” が表示され、
「全インデックス検索モード」となります。

”●”：録画開始インデックスマーク、ＲＥＣにして最初の記録画像のインデックスです。
”AL●1 ”、 ”PRE●1 ” または ” ● ”

”＊”：アラームインデックスマーク、１つのアラームで最初の記録画像の
インデックスです。
”AL＊1 ” または ”PRE＊1 ”

・[FP]を３回押すと ” INDEX●→ ” が、[RP]を３回押すと ” ←INDEX● ” が表示され、
「 RECスタート検索モード」となります。

⑥画像情報 — その画像が記録されたときの情報を示します。

・AL ： アラーム録画モードで記録された画像。１枚目は ”AL ＊1 ” もしくは ”AL●1 ”、
２枚目以降は ”AL 2 ”、 ”AL 12 ” などとカウント表示されます。

・PRE ：プリアラーム録画モードの、アラーム発生前の画像。１枚目は ”PRE*1 ” もしくは
”PRE●1 ” となります。
プリアラームを２枚、アラーム発生以降を３枚とすると
”PRE*1 ”、 ”PRE 2 ”、 ”AL 3 ”、 ”AL 4 ”、 ”AL 5 ” とカウントは連続します。

・無表示 ：連続録画モードで記録された画像。ただし「REC MODEに移行して最初の記録画像」には ” ● ” のみが表示されます。新しい画像から古い画像へコマ送りした場合、最も古い画像に達した時点でコマ送りは停止します。古い画像から新しい画像へコマ送りする場合、最も新しい画像に達すると最も古い画像にループし、コマ送りを続けます。

14. 再生モード（続き：検索）

①全インデックス検索

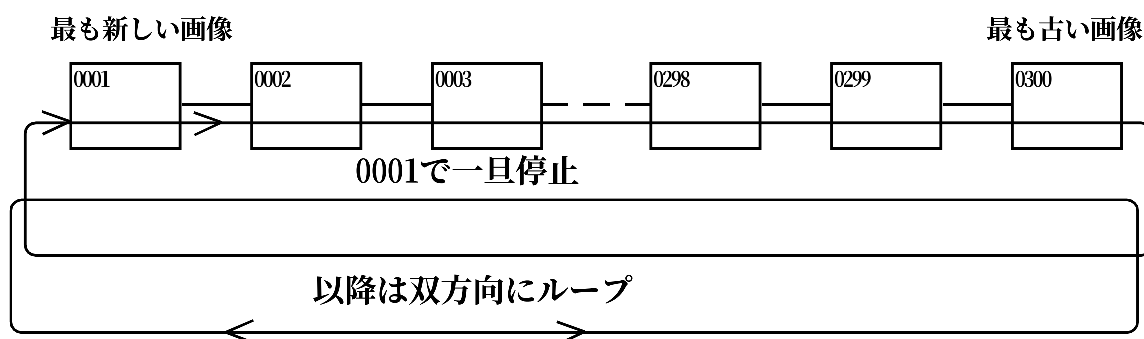
[FP]ボタンもしくは[RP]ボタンを２回押すと、その方向で「全インデックス検索」を行います。
検索は５０枚単位で行い、画像情報中に”＊”もしくは”●”があればその画像、なければ５０枚目の画像を表示します。[PAUSE]ボタンで停止させなければ次のインデックスのある画像を検索します。
この検索では、「アラームが発生して最初に録画された画像（画像情報が”AL*1”のもの）」、「プリアラームで最初に録画された画像（同じく”PRE*1”のもの）」、「RECモードにに移行して最初に録画された画像（”AL●1”、”PRE●1”、”●”）」のいずれかを検索することになります。

② RECスタート検索

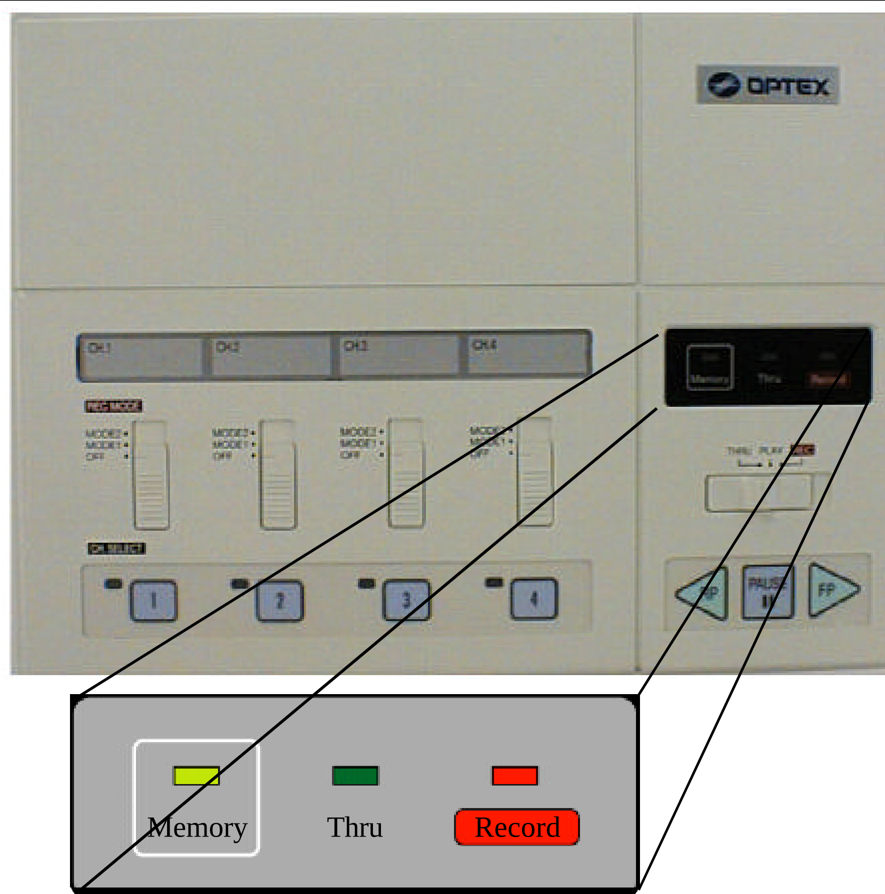
[FP]ボタンもしくは[RP]ボタンを３回押すと、その方向で「RECスタート検索」を行います。
検索は５０枚単位で行い、画像情報中に”●”があればその画像、なければ５０枚目の画像を表示します。[PAUSE]ボタンで停止させなければ次のインデックスのある画像を検索します。
この検索では、「RECモードにに移行して最初に録画された画像」のみを検索することになります。

（注）コマ送り、検索におけるループへの移行

新しい画像から古い画像へコマ送り／検索した場合、最も古い画像に達すると、コマ送り／検索は最も新しい画像を表示して停止します。このとき[FP]ボタンもしくは[RP]ボタンを押して再びコマ送り／検索すると、最も新しい画像に達すると最も古い画像、逆に最も古い画像に達すると最も新しい画像にループされ、以降、停止することはありません。



15. インジケータの表示



Memory	Thru	Record	内容	その他の動作
—	点灯	非点灯	PLAY モード	
—	点滅	非点灯	THRU モード	
—	非点灯	点灯	REC モード	
点滅	点滅	点滅	エラー表示 ・ビデオ信号なし ・メモリカードなし （詳しくは「16.エラーについて」をご覧下さい。）	リレー信号を出力します。チャンネル１のビデオ信号がない場合は画面に“NO SYNC : CH1” を表示します。
点灯	点灯または非点灯	点灯または非点灯	アラーム記録があったことを表示します。	REC modeに入るときリセットされます。
点滅	点灯または非点灯	点灯または非点灯	RECモードに入ってからメモリ容量分を使い切ったことを表示します。	REC modeに入るときリセットされます。
点滅	点灯または非点灯	点滅	RECモードに入ってからメモリ容量分を使い切り、記録動作を停止したことを表示します。	REC modeに入るときリセットされます。

16．エラーについて
（３つのLEDがすべて点滅の場合、エラー状態を表示します）

エラー内容	発生条件	予想される事態	復帰条件
ビデオ信号なし (CH1)	CH1のビデオ信号が検出できない場合 (THRU または REC モード)	・カメラの故障、破壊、電源異常、喪失 ・ビデオケーブル断線	ビデオ信号検出した場合 (PLAY時は無条件で復帰します)
ビデオ信号なし (CH2-CH4)	アラーム記録が設定されているチャンネルでアラーム発生時、ビデオ信号が検出できない場合 (REC モード)	・カメラの故障、破壊、電源異常、喪失 ・ビデオケーブル断線	異常チャンネルで再度アラーム発生時にビデオ信号を検出した場合 (PLAYまたはTHRU時は無条件で復帰します)
メモリカードなし	メモリカードがない場合 (REC モード)	・メモリカード喪失 ・メモリカード破壊 ・対応するメモリカードではない場合 ・メモリカード端子部の腐食	正常動作のするメモリカードを挿入し動作した場合 (PLAYまたはTHRU時は無条件で復帰します)

<注意>：ディップスイッチ No.2の設定を「ON」(350ms) にした場合、カラーモードでカラーカメラを使用しても、使用環境によりモノクロで記録されることがありますが故障ではありません。

17. 仕様・外形寸法

<仕様>

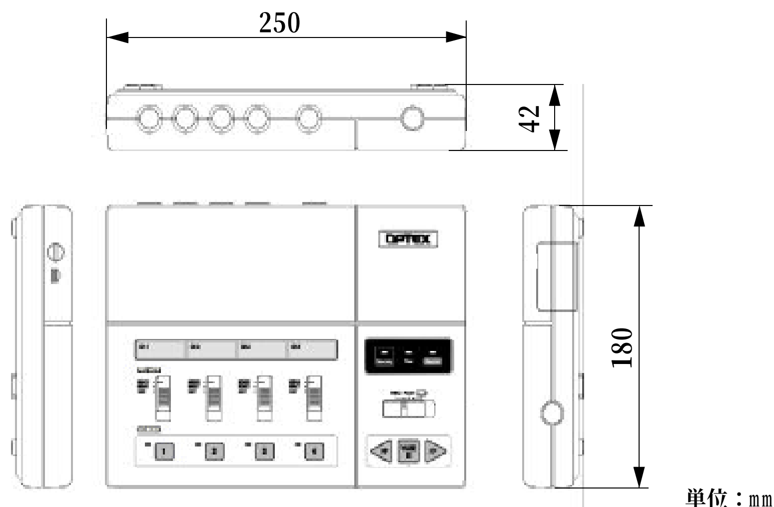
<基本仕様>	
電源	DC 7～12V (付属のDC接続ケーブル使用時) AC100V,50/60Hz(別売品のACアダプター使用時、消費電力24VA)
消費電流	1A
使用温度範囲	0℃～+40℃
外形寸法 (本体のみ)	高さ180mm×幅250mm×厚み42mm
重量 (本体のみ)	690g
<映像>	
映像入力	コンポジット1.0 V p-p ±10% 75 Ω (BNC 端子 x 4)
映像出力	コンポジット1.0 V p-p ±10% 75 Ω (RCA 端子 x 2)
<アラーム入出力>	
アラーム入力	N.O. もしくはN.C.接点入力 (4入力、各2端子使用)
アラーム出力	N.O. もしくはN.C.接点出力(3出力、各2端子使用、1系統)
警戒モード入力	オープンコネクターまたはリレー対応(2端子使用・1系統)
<記録方法>	
圧縮方式	JPEG
画像解像度	NTSC 640(H) × 240(V)
録画時間間隔	1～10秒の間で設定可能 (1秒刻み)
メモリ容量	別売品メモリカードにより、 8MB/16MB/32MB/64MB (MC-8/MC-16/MC-32/MC-64)
記録画像枚数	(下表参照)

	モノクロモード		カラーモード	
	STD	HIGH	STD	HIGH
8MB	約500	約330	約330	約250
16MB	約1000	約660	約660	約500
32MB	約2000	約1320	約1320	約1000
64MB	約4000	約2640	約2640	約2000

プリアラーム枚数			
モノクロモード		カラーモード	
STD	HIGH	STD	HIGH
8	4	4	3

＊仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

<外形寸法図>



単位：mm

（保証規定）

１．保証の範囲
１） 取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。
お買上店もしくは弊社へ本書を添えてお申しつけ下さい。
２） この保証は保証書に記載された製品について、日本国内に限り適用します。

２．保証の条件
次に該当する故障は、保証期間（お買い上げ日より１年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
１）誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障。
２）火災など不可抗力による損傷。
３）本書紙面に必要事項の記入がない場合、また本書の提示がない場合。

保　証　書　WT-100J/WT-110J

保証期間 お買い上げ年月日 より １年間	販売店名
お客様 ご住所（〒　　　　） （TEL　　．　　．　　　） お名前	お願い ・太線枠内にはお買い上げ時に必ず記入を受けて下さい。 ・記入なき場合、本書は無効となります。 ・本書は大切に保存して下さい。 再発行はいたしません

オプテックス株式会社

国内セキュリティー営業部　TEL(077)524-6946 FAX(077)524-3201
本　社　〒520-0801　滋賀県大津市におの浜4-7-5　TEL(077)524-6990
東京営業所　〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-14-1　TEL(03)3344-5775
新宿グリーンタワービル18F

`2000.2 5909080　MADE IN JAPAN